北村（きたむら） 拓美（ひろみ）さん

両親の想いが詰まった土地で農民と女流画家として生きる

農民画家［穴水町］

戦後の開拓地である穴水町瑞鳳（ずいほう）地区で生まれ育った北村拓美さん(64)は、金沢美術工芸大学で日本画を学び、卒業後は、両親から受け継いだ農園の経営を兼ねながら創作活動を行ってきました。

「父がひと鍬ずつ苦労して開墾した土地にとても愛着がありました。三姉妹の末っ子でしたが姉たちが嫁いでしまい、自分は農業が好きだったので、農園の跡を継ぐことにしました。農園では、主にブルーベリー、杏、イチジク、グミなど果樹を中心に無農薬で育てています。付加価値を高めるためにも、ジャムに加工して販売しています」

収穫のない時期にあたる夏と冬には、小屋を改装したアトリエで絵を描くことに没頭し、現在は自身の集大成ともいえる「極楽浄土」をテーマにした襖（ふすま）絵に取り組んでいるところです。完成後は、菩提寺である西蓮寺本堂で公開されます。

「自分にとっては、農業と画家の両方の時間を持つことが心地よいです。どちらか一方では潰れてしまっていたでしょう。小高い山となるこの場所は、眼前に富山の山々が連なる素晴らしい風景が広がり、この美しい自然の中で植物と語り合う時間があるからこそ絵を描くことができます」と語る北村さん。両親の開拓魂を受け継ぎながら、心穏やかな日々を過ごしています。

大自然 ファーマー北村 【map P70 G-4】

穴水町字瑞鳳い15　☎0768-56-1660

※アトリエに作品を展示。訪れる際は、事前に連絡を